

チャ品種「ゆめするが」の生産実態調査

[研究のねらいと取り組み]

2012年に種苗法に基づき品種登録された「ゆめするが」は、品質が優れるやや晩生品種である。本品種の普及促進を図るため、2024年度に本品種を導入している経営体の聞き取り調査を行い、本品種の栽培特性や製茶特性及び茶商や消費者の評価等について明らかにした。

[研究の成果]

- ・調査した経営体は静岡県内で「ゆめするが」を栽培している7経営体であり、経営形態は自園自製（自販含む）が5経営体と共同製茶が2経営体である。
- ・「ゆめするが」の早晚性は「やぶきた」よりも概ね3～4日遅かった。収量性は「やぶきた」と同じが2経営体、多い、やや多いが3経営体、少ないが2経営体と経営体により異なった（表1）。
- ・栽培上の留意点は「みる芽摘採の遵守、幼木時の枯死が多い、硬葉の品質低下が顕著、土壌を選ぶ」等が挙げられた（表1）。
- ・病害虫の発生は炭疽病が多く、もち病、赤焼病、ハマキムシ類はやや少ない評価であった（表1）。
- ・蒸し度は「やぶきた」と同じかやや短く、製茶歩留まりは「やぶきた」と同じかやや悪かった。荒茶品質は「外観と水色に青みがあり良好、味と香りは癖がなく飲みやすい」と評価されたが、「淡泊、個性が乏しい」との指摘もあった。製造上の留意点として、「蒸しが通りやすい」との意見があった（表2）。
- ・茶商や消費者からの評価として、「個性が少ない」という一方で、「水色がかぶせ茶並みに良い、誰が淹れても旨い、仕上げ映えしそう、若い人に高評価」などが挙げられた。収益性は「やぶきた」と同じかやや高い傾向であった。その他の長所としては、「露地でも被覆様の色沢になる、新芽が柔らかい、バランス良い品質、揉みやすい」等が挙げられ、短所としては、「紅茶適性が低い、樹勢が弱い、粘土質土壌で生育不良、特徴が薄い」等が指摘された（表2）。

表1 「ゆめするが」の栽培特性及び病害虫発生程度

経営体	早晚性 ¹⁾	収量性 ¹⁾	栽培上の留意点等	病害虫の発生程度 ²⁾				
				炭疽病	もち病	赤焼病	ヨコバイ ³⁾	ハマキムシ類
A	+4	やや多い	みる芽遵守、被覆でうま味減る	△	△	△	△	△
B	+3～5	多い	幼木時の枯死が多い	×	○	△	△	△
C	+3	同じ	枝が細くなる、硬葉で品質低下	▲	△	△	△	△
D	+5～7	同じ	特になし	△	△	△	△	△
E	+3	-10%	三番茶の枝揃い悪い、土を選ぶ	▲	○	○	△	○
F	+4	-10%	特になし	△	◎	○	△	○
G	0	+20%	特になし	△	—	—	▲	—

¹⁾やぶきた比、²⁾発生程度：◎ほとんど発生しない、○やや少ない、△普通、▲やや多い、×非常に多い、³⁾チャノミドリヒメヨコバイ、「—」不明

表2 「ゆめするが」の製茶特性及び茶商・消費者の評価等

経営体	蒸し度 ¹⁾	歩留まり ¹⁾	荒茶品質			製茶上の留意点等	茶商・消費者の評価	収益性 ¹⁾	その他
			色	味・香り	その他				
A	同じ	同じ	良い	品良いうま味	個性乏しい	みる芽遵守	個性少ない	同じ	紅茶適性低い、被覆様の色沢
B	同じ	同じ	水色良い	—	—	特になし	名前で買う	同じ	新芽柔らかい、樹勢弱い
C	同じ	同じ	水色青み	—	細よれ	特になし	誰が淹れても旨い	+30%	バランス良い
D	短い	やや悪い	鮮緑	癖がない	飲みやすい	蒸し通りやすい	仕上げ映えしそう	—	若い世代に合う、揉みやすい
E	短い	同じ	青み	癖がない	—	硬葉品質低下	他品種と違う	-10～15%	粘土質土壌で生育不良
F	同じ	同じ	青み	特徴ない	バランス良	特になし	香り良い	+20%	バランス良い
G	同じ	悪い	良い	淡泊	—	特になし	若い人に高評価	+10%	特徴薄い

¹⁾やぶきた比、「—」不明